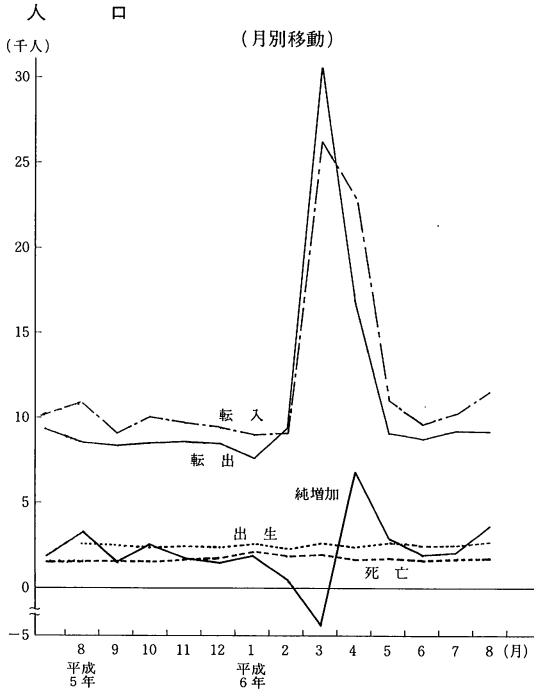
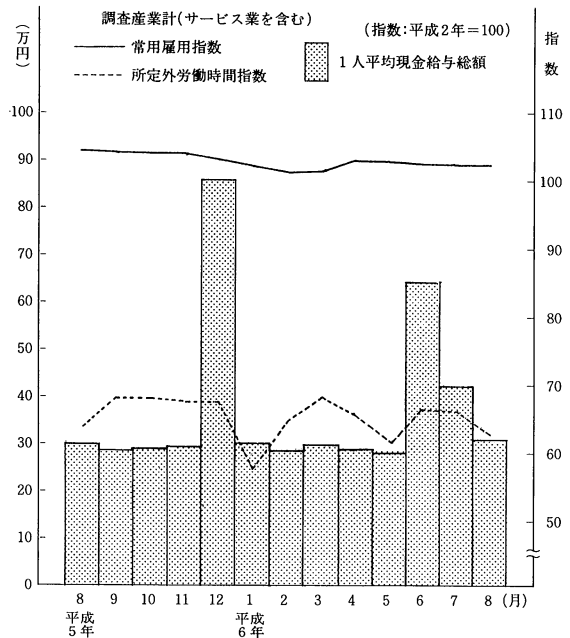


● 今月の主な動き

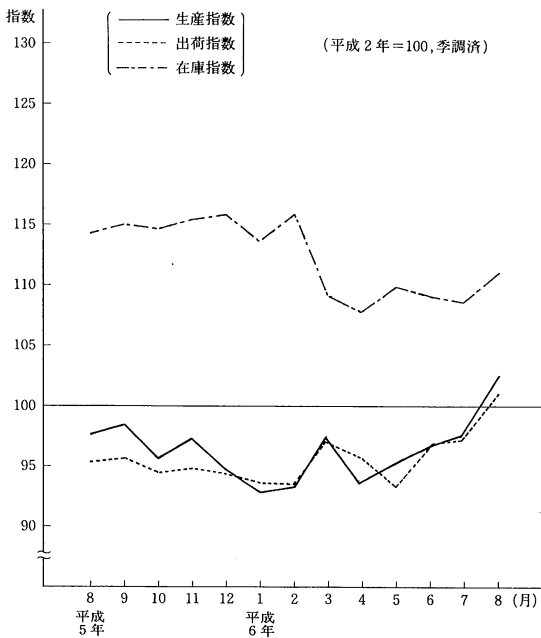
今月の主な動き



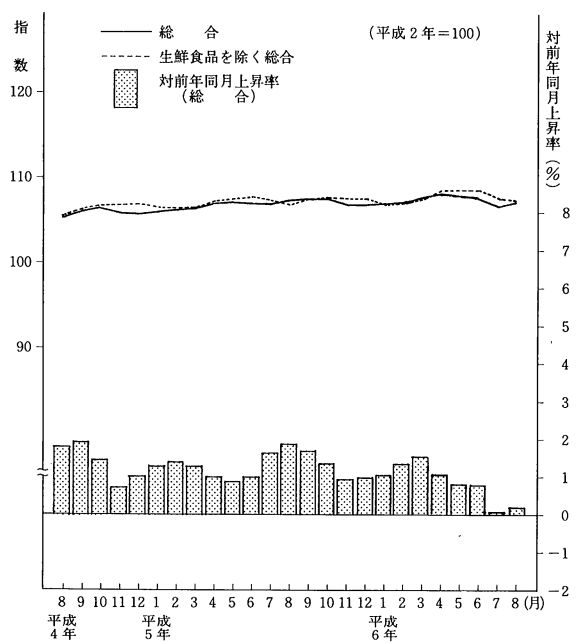
賃金・労働時間・雇用



鉱工業指数 (生産・出荷・在庫)



消費者物価指数



主な動きのあらまし…………… 企画部統計課

■ 人 口 (9月1日)

本県の人口は、8月中に3,514人増加し、9月1日現在で、2,947,305人(男1,473,754人、女1,473,551人)となった。

内訳は、自然動態で1,097人(出生2,744人、死亡1,647人)増加し、社会動態で2,417人(転入11,517人、転出9,100人)増加した。前年同月と比べると22,066人(0.75%)の増

加である。

市町村別では、増加が18市52町村、減少が2市14町村、増減なしが1町である。

世帯数についても8月中に、1,577世帯増加し911,323世帯となった。

■ 賃金・労働時間・雇用 (8月)

1. 平均賃金の推移

8月の現金給与総額は、調査産業計で314,403円、対前年同月比3.2%増、このうち、きまって支給する給与は292,871円、対前年同月比1.7%増であった。また、このうち、所定内給与は268,358円、対前年同月比1.9%増であり、超過労働給与は24,513円、対前年同月比0.8%減であった。

なお、物価上昇分を差し引いた実質賃金は、対前年同月比3.2%増であった。

※ この地方調査の結果は事業所規模30人以上です。なお、事業所規模5人以上の結果についての問合せにも応じます。

2. 労働時間

8月の総実労働時間は、調査産業計で148.5時間、対前年同月比0.6%増であった。このうち、所定内労働時間は136.2時間、対前年同月比0.7%増、所定外労働時間は、12.3時間、対前年同月比1.6%減であった。

3. 雇用の動き

8月の雇用の動きを常用雇用指数によってみると、対前年同月比1.7%減であった。

■ 鉱工業指数〈生産・出荷・在庫〉 (8月)

本県における平成6年8月の“鉱工業指数”(平成2年=100)は、季節調整済指数で、生産が102.5、出荷が100.7、在庫が110.7で、前月比は、生産が5.1%の上昇、出荷が3.6%の上昇、在庫が2.0%の上昇であった。

前年同月比(原指数)は、生産が4.8%の上昇、出荷が3.6%の上昇、在庫が3.0%の低下であった。

業種別に前月比をみると、生産では、石油・石炭製品工業、精密機械工業、金属製品工業等が上昇し、輸送機械工業、プラスチック製品工業、食料品・たばこ工業が低下した。出荷では、石油・石炭製品工業、精密機械工業、鉄鋼

業等が上昇し、鉱業、食料品・たばこ工業、輸送機械工業が低下した。在庫では、鉱業、食料品・たばこ工業、精密機械工業等が上昇し、石油・石炭製品工業、輸送機械工業、非鉄金属工業等が低下した。

特殊分類別にみると、生産では、その他用生産財を始め全てが上昇した。出荷では、その他用生産財、建設財等が上昇し、非耐久消費財が低下した。在庫では、非耐久消費財、その他用生産財等が上昇し、耐久消費財、鉱工業用生産財が低下した。

■ 消費者物価指数 (8月)

平成6年8月の茨城県消費者物価指数(県平均)は、総合で107.2(平成2年=100)となり、前月比0.6%の上昇、前年同月比0.2%の上昇となった。

今月の上がった主な項目……果物25.8%、野菜・海草9.7%、魚介類3.2%、他の教養娯楽1.5%

今月の下がった主な項目……シャツ・下着3.1%、衣料3.0%、穀類2.1%、生地・他の被服類1.1%

生鮮食品を除く総合は107.5となり、前月比0.2%の下落、前年同月比は0.8%の上昇となった。

費目別指数

(平成2年=100)

区 分	指数	上昇率(%)		区 分	指数	上昇率(%)	
		対前月	対前年同月			対前月	対前年同月
総 合	107.2	0.6	0.2	保健医療	103.0	0.0	0.4
食 料	106.9	2.1	△1.4	交通通信	99.4	0.0	△1.1
住 居	115.3	△0.3	2.1	教 育	114.0	0.0	3.5
光熱・水道	102.7	0.0	△0.4	教養娯楽	110.4	1.3	0.7
家具・家事用品	100.0	0.2	△1.6	諸 雑 費	104.3	0.0	0.6
被服及び履物	107.6	△2.4	2.1	生鮮食品を除く総合	107.5	△0.2	0.8